

-innovation-

日大鶴ヶ丘高校進路通信 第3号 令和2年6月発行



進路指導部主任より



1年生の分散登校の初日である6月3日にその様子を見させていただいた。初めての登校のはずなのに制服が馴染んでいて、不思議な感じがした。2・3年生も6月初旬に3ヶ月ぶりの登校を果たした。

昨年度3月1日の卒業式は各教室で、校内放送を使用して実施することができた。マスク着用が義務付けられるなど、例年の式とは全く異なってはいたものの、卒業生は落ち着いており、厳粛な中にも旅立ちを祝う晴れやかな式となった。あれから約4ヶ月、緊急事態宣言期間や東京アラートを経た現在、マスクの着用だけでなく、三密防止やソーシャルディスタンスの意識が世界中で高まっており、社会情勢の劇的な変化には驚くばかりである。

テレワークも推奨される中、様々な大学がオンライン説明会を実施している。我々は Classi を中心に数 多くの進路情報を配信しているが、キミたちにも積極的に情報収集してほしい。そして自らの進路を切り拓 いていってほしい。



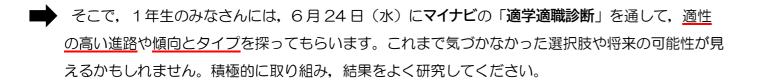
1年生向け → 文理選択とは?

★大学での学び、将来の仕事とも関わってくる大事な選択!

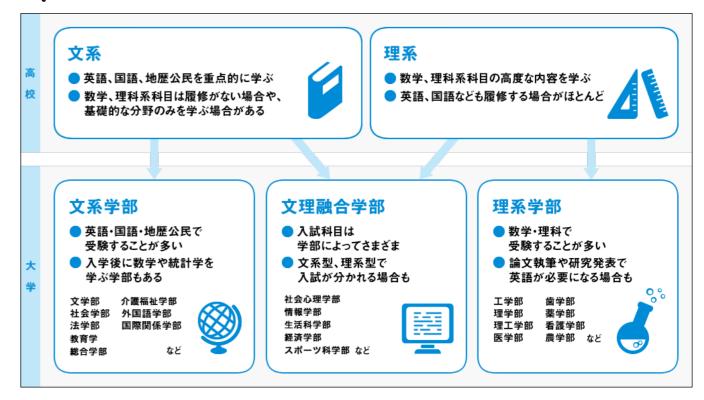
今後学んでいく分野を決めることは、大学進学のみならずその後の人生にも影響するという意味で、 大変重要です。目先の受験だけにとらわれるのではなく、しっかりと情報収集をした上で周囲の人 にも相談しつつ、じっくり検討するようにしましょう。

だからこそ,将来就きたい仕事や,学びたい





☆ 文理選択と大学進学 ※あくまでも一般的な例です





2年生向け → 学問選択とは?

今後の進路決定のヒントにしてもらいたい、という目的で、6月23日(火)に**フロムページ**の「**夢ナビプログラム**」を実施します。「夢ナビ」とは…

★自分の興味・関心と、実際の世の中とのつながりを考えるきっかけ

をつくる取り組みです。

みなさんが選んだ「<u>関心ワード</u>」が、 <u>どのような学問につながっているのか</u> を知ることで、学問選択の方向性を見 出して欲しいと思っています。

例) 「味」という関心ワードから つながる講義シート

こちらも参考にしてください。↓↓ https://yumenavi.info/index_pc.aspx





Q しげまるの学問探究 vol.2 Q

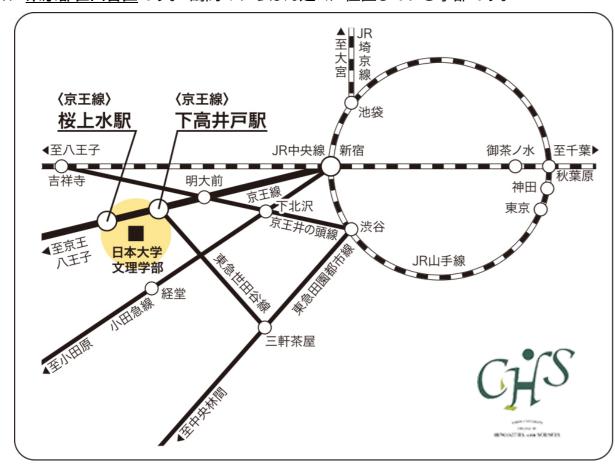
「日本大学文理学部」では何を学ぶ?

鶴高からは毎年 70 名前後が進学している文理学部。近くにあるけど、 実はよく知らないかもしれない鶴高生のために、その魅力に迫ります!



Q1 どこにあるの?

A1 東京都世田谷区です。 鶴高のいちばん近くに位置している学部です。



Q2 何が学べるの?

A2 「文」と「理」の融合を特色とした教育と研究を行っています。人文系・社会系・理学系の 3 系統 18 学科の複合学部のメリットを活かし、総合的・学際的な教育を基礎として、教 養教育と専門教育を有機的に結びつける教育を実現しています。

人文系学科 → 哲学・史学・国文・中国語中国文化・英文・ドイツ文

社会系学科 → 社会・社会福祉・教育・体育・心理・地理

理学系学科 → 地球科学・数学・情報科学・物理・生命科学・化学

NEW!

2020年度新設!

グローバル教育研究センター(外国語教育部門)

文理学部生の外国語学習を支援、サポートすることを目的とし、学部教育と手を携えて、学生の語学能力のアップに貢献!TOEIC・TOEFLなどの各種検定試験対策講座、外国語運用能力向上のための各種課外講座の実施、Web学習システムの提供、外国語学習や海外留学に関する相談コーナーが設置されます。



Q3 卒業生の声が聞きたい!

A3 2016年度鶴高卒業で,スキー部に所属していた,現在,日本大学文理学部体育学科4年 の稲垣由奈さんに聞きました!

文理学部は教員志望の人はもちろん,他学科の教員免許でも取得できるキャンパスであることが1番の魅力です。そして総合体育館にはトレーニング出来るジムもあって珍しい学部だと思っています!私の所属している体育学科の魅力としては、クラス単位での授業が多い為、他学科より多くの人と関わる場があり、また、先輩後輩との繋がりが強いので沢山輪を広げることができます。私は体育学科に入って出逢った仲間達と人生で1番濃い時間を過ごせていると日々感じています!!

Q4 関係の深い先生の声が聞きたい!

A4 1年K組担任、国語担当で、演劇部顧問の村山先生に聞きました!

文理学部は18学科あり、文系も理系も同じキャンパスで学んでいます。講義も学科を越えて受講でき、サークルでは好きなことが一緒の気の合う友人ができました。施設や教員も充実していて、研究にも優れた場所です。私は落語を中心に笑いはどう生まれるのかを研究していました。図書館や研究室で古今の文献と格闘する中、教授はとても親身に私の研究に付き合ってくださいました。私の周りでは神話とか村上春樹とか方言とか JPOP の歌詞研究など、それぞれ好きなことに没頭していました。とにかく居心地の良いキャンパスで、院も含めて6年通ったので、いろいろお伝えできると思います。質問があればぜひ職員室に来てくださいね。

次回の「しげまるの学問探究」では**、日本大学理工学部**にフィーチャーします!